再評価結果（平成２１年度事業継続箇所）

担　当　課：国道・防災課
担当課長名：深澤淳志

事業名	一般国道４３８号 森遠拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県美馬市木屋平竹尾 至：徳島県美馬市木屋平寺内			延長	４．４km

事業概要
一般国道４３８号は県中央部を縦断する幹線道路であり、県西部地域においては四国で唯一認定された「にし阿波観光圏整備計画」の実現に寄与する重要な路線である。森遠拡幅は、剣山やかずら橋などへのアクセス機能の強化を図るとともに、幅員狭小や線形不良などの隘路を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に整備する２車線道路である。

Ｓ６０年度事業化	―	Ｓ６０年度用地着手		Ｓ６１年度工事着手	
全体事業費	８０億円	事業進捗率	９７％	供用済延長	３．５km
計画交通量	８００台／日				

費用対効果分析結果	Ｂ／Ｃ	総費用	総便益	基準年
	（事業全体）1.1 （残事業）6.4	（残事業）/（事業全体） 2.3/116億円 事　業　費：1.9/114億円 維持管理費： 0.38 /2.3億円	（残事業）/（事業全体） 15/ 122億円 走行時間短縮便益：14/114億円 走行経費減少便益：0.86/7.7億円 交通事故減少便益:0.00/0.07億円	平成２０年

感度分析の結果　残事業について感度分析を実施
交通量変動　：B/C=7.1（交通量　+10%）　B/C=5.8（交通量 -10%）
事業費変動　：B/C=5.9（事業費　+10%）　B/C=7.0（事業費 -10%）

事業の効果等
・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消）
・災害への備え（「徳島県地域防災計画」において第３次緊急輸送路として位置付け）
・個性ある地域の形成（剣山、中尾山高原等の観光地へのアクセス向上）　　他８項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
・沿線市町村で構成する国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会から早期整備を求める要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
・平成17年3月に市町村合併（脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村）により美馬市が発足。
・平成20年10月に美馬市を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波観光圏」が認定。

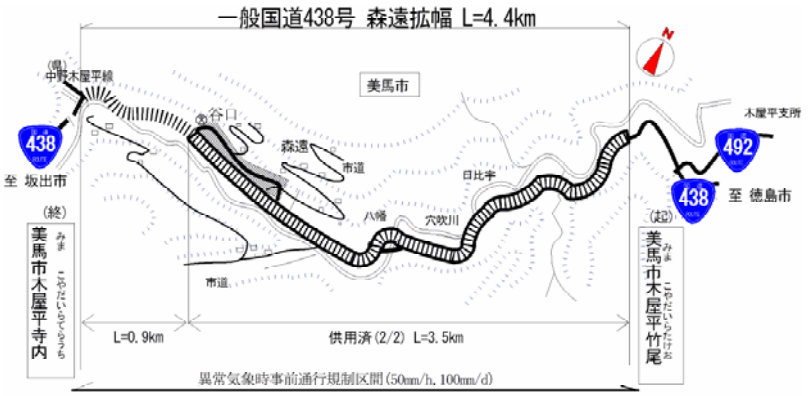
事業の進捗状況、残事業の内容等
・平成20年度末の供用区間は全延長4.4kmのうち起点側約3.5km。
・残事業は道路改良0.9km。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
・相続問題から用地取得に遅れを生じていたが、平成20年度までに用地取得が完了した。
・工事促進に取り組み平成21年度の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等
・他事業と連携した残土の有効利用によりコスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

凡　例	
	再評価箇所
	うち供用中